

第31回

入場無料

宮城県歯科医学大会



【特別講演】

**Tooth wearとNCCLに強くなろう
—プラークコントロールで対応できない疾患をどう捉える?—**

黒江敏史先生（山形県南陽市開業）

日時

令和7年

8月31日 9:30~11:40
日(日)

会場

仙台国際センター

展示棟「会議室1・会議室2」

地下鉄：東西線 仙台国際センター駅

ご挨拶

一般社団法人 宮城県歯科医師会 会長 佐々木 優

第31回宮城県歯科医学大会は8月31日(日)に仙台国際センター展示棟（会議室1・2）で開催されます。今大会では、特別講演として黒江敏史先生（山形県南陽市開業）をお招きし、「Tooth wearとNCCLに強くなろう —プラークコントロールで対応できない疾患をどう捉える?—」というテーマで御講演いただきます。Tooth wear（酸蝕症・咬耗症・摩耗症など）は、近年、超高齢化社会の中、注目されている第三の歯科疾患であり、NCCL（非う蝕性歯頸部歯質欠損）と共に、従来のプラークコントロールでは解決できないという特性を持っています。黒江先生は1994年にアブフラクションへの関心をきっかけに、Tooth wearとNCCLの研究と臨床に従事されてきました。最近約20年間の知見の変化により、両疾患の関係については、新たな視点が必要とされています。御講演では、プラークコントロールが通用しないこれらの疾患について病因論に基づいて解説していただきます。まさに「目からウロコ」の御講演になると思います。今後の日常臨床に役立つ知見を得られる貴重な機会です。皆様、奮って御参加下さい。また今回、併せて、東北デンタルショー（8月30・31日）が開催されます。最新の歯科医療機器、材料の展示と歯科技工士会や歯科衛生士会の企画による関連イベントが行われます。多くの歯科医療関係者の皆様の御参加をお待ちしております。

主催／一般社団法人 宮城県歯科医師会 TEL 022-222-5960

共催／一般社団法人 宮城県歯科技工士会・一般社団法人 宮城県歯科衛生士会・東北新潟歯科用品商協同組合宮城県支部

【特別講演抄録】

Tooth wearとNCCLに強くなろう ープラークコントロールで対応できない疾患をどう捉える?ー

黒江敏史 (山形県南陽市開業)

Tooth wear と NCCL(Noncarious cervical lesion：非う蝕性歯頸部歯質欠損)は、う蝕が原因ではない物理・化学的な歯質喪失で、日常臨床で高い頻度で遭遇する。これらは歯の喪失に直結することはないが、QOL を低下させたり、歯の健康を脅かす綻びとなる。Tooth wear は第三の歯科疾患として注目を集めてきているが、tooth wear と NCCL はプラークが原因ではない点でう蝕と歯周病とは大きく異なる。つまり、プラークコントロールでは太刀打ちできない疾患であり、これまでとは異なるアプローチが要求される。

Tooth wear は酸蝕・咬耗・摩耗が三大原因と考えられている。これらは化学的(溶ける：酸蝕)と物理的(擦れる：咬耗と摩耗)要因に大別される。酸蝕は成書が多く、tooth wear の中では最も解明が進んでいる。酸の由来で外因性(酸性飲食物、薬剤等)と内因性(胃酸)に分類され、それぞれに固有の臨床的特徴がある。咬耗は歯と歯の接触、摩耗は異物との接触によって生じる物理的喪失である。酸蝕は単独で歯質を喪失させるだけでなく、物理的な歯質喪失を促進させるため、もっとも影響力が大きい tooth wear の要因である。

NCCL は CEJ 付近に生じた、う蝕が原因ではない歯質喪失である。非う蝕性の歯質喪失という点は tooth wear と共通だが、歯頸部という部位縛りがあることが特徴である。アブフラクション・酸蝕・摩耗が、NCCL の三大原因と考えられている。歯頸部は咬合接触部位ではないため、原因から咬耗が外れる点が tooth wear と異なる。アブフラクションは咬合力によって歯頸部歯質が破壊されると考えられている現象である。病因論的にはアブフラクションが NCCL を特徴付けており、NCCL は tooth wear とは別物で咬合関連疾患と考えている人が多いのではないだろうか。

演者は 1994 年にアブフラクションに興味を持って以来、研究者および臨床家として NCCL と tooth wear を追いかけてきた。NCCL に関する知見はこの 20 年で大きく変化しており、それに伴い tooth wear と NCCL の関係性を再考する必要があると考えている。本講演では、我々の常識(プラークコントロール)が通用しない疾患をどう捉えるかを、tooth wear と NCCL の病因論を中心に解説する。

略 歴

1993 年：東北大学歯学部卒業
1993-1997 年：東北大学歯学部第二補綴科研修医・研究生
1997-1999 年：UCLA Biomaterials Science 客員研究員
1999-2001 年：北海道大学歯学部第二補綴科 医員
2001-2009 年：北海道大学歯学部高齢者歯科 助教
2009 年-現在：黒江歯科医院

所属学会等

・ITI (ITI フェロー)
・日本口腔インプラント学会
・日本補綴歯科学会
・CID
・勝史塾
・日本臨床歯周病学会
・日本顎咬合学会
・北海道形成歯科研究会